

平成29年第2回さくら市議会定例会一般質問順番

平成29年6月2日（金）午後2時～ 2人

質問順番	質問者名
1 番	岡村 浩雅 議員
2 番	鈴木 恒充 議員

平成29年6月5日（月）午前10時～ 5人

質問順番	質問者名
1 番	福田 克之 議員
2 番	加藤 朋子 議員
3 番	石岡 祐二 議員
4 番	大河原 千晶 議員
5 番	笹沼 昭司 議員

平成29年6月6日（火）午前10時～ 5人

質問順番	質問者名
1 番	角田 憲治 議員
2 番	小堀 勇人 議員
3 番	永井 孝叔 議員
4 番	若見 孝信 議員
5 番	大橋 悦男 議員

岡 村 浩 雅 議員

1. 児童医療費における国民健康保険療養費等国庫負担金減額調整一部廃止について

- ①平成30年度より未就学児までを対象とする医療費助成、国民健康保険療養費等国庫負担金減額調整措置が廃止となる。この廃止に伴い市の負担分はいくら減額となるのか。
- ②見直しにより生じた財源を今後どのように活用するのか。

答弁を求める者 市長

2. マイナンバー、マイナポータルについて

- ①マイナンバー、マイナポータル進捗状況について。
- ②政府は「子育てワンストップサービス」を順次実施するとしている。本市においていつから、どのような方法で、こういったメニューを提供する予定か。
- ③公的個人認証サービスを利用した「母子保健健康情報サービス」を実施している自治体がある。このようなサービスを行う考えはあるか。また、マイナポータルを利用した「子育てワンストップサービス」とは何がどのように違うのか。

答弁を求める者 市長

3. 防災・減災対策について

- ①小中学校における「着衣水泳」実施についての考えは。
- ②現在、さくら市社会福祉協議会で実施されている「減災運動会」全小中学校運動会での実施についての考え、及び旧両町市民体育祭での実施についての考えは。
- ③災害時に障がいがある人が手助けを求めやすくするための「ヘルプカード」の活用について。
- ④地震の時、自動で電気を遮断できる「感震ブレーカー」導入を助成する考えはあるか。

答弁を求める者 市長、教育長

鈴木 恒 充 議員

1. 人口減少社会について問う。

①定住者人口を増やす為の施策について

②出生率を上げるための施策について

③観光及び地域性のPRについて

④企業誘致アドバイザーの経過と結果について

⑤氏家駅周辺の開発について

答弁を求める者 市長

福 田 克 之 議員

1. 桜の郷づくりについて

- ①現在の取り組みは
- ②今後の植樹や延伸、そして新たな計画は

答弁を求める者 市長

2. 臨時職員の給与のアップについて

- ①効果の有無は
- ②今後の課題は

答弁を求める者 市長

3. 民生児童委員について

- ①現在の民生委員の活動状況は
- ②なり手不足解消策は
- ③今後の対応は

答弁を求める者 市長

4. 各種選挙の対応について

- ①現在の投票所の開設状況は
- ②18歳以上の新有権者及び新住民への周知は
- ③今後の期日前投票所の設置は

答弁を求める者 市長、選挙管理委員会委員長

加 藤 朋 子 議員

1. 「さくら市進化プラン」実現のためのロードマップを示せ

市長の所信表明演説で語られたビジョンを具体化させるために、どのような方策をとって行く考えなのか。特に以下の点についてお伺いしたい。

- ① 農産物の売り上げ1.2倍増
- ② さくらブランドの今後の展開
- ③ 市民塾、5歳からの英語学習
- ④ 課外学校「さくらスクール」
- ⑤ スポーツ教育施設の充実
- ⑥ 困窮世帯への支援
- ⑦ 市独自の地域包括ケア体制
- ⑧ 「健康のさくら市」づくり
- ⑨ 「健康散策ゾーン」

答弁を求める者 市長

2. 地域福祉計画を進めていくには

安心安全な暮らしのために欠かせない福祉。この度第2次さくら市地域福祉計画が策定され、今後5ヵ年の方針が定められたが、計画に謳われた個々の目標を達成してくために、どのような方策を考えているのか。

答弁を求める者 市長

石 岡 祐 二 議員

1. 市長の施策方針について

- ①市長はさくら市の現況をどのように把握しているのか、そしてどのように進化させ、どのような街づくりをすすめていく考えなのか
- ②5万人規模の街づくりというのは具体的にどのようなものを目指しているのか

答弁を求める者 市長

2. 地元農産物（品）の売上1.2倍について

- ①ベースとなる最近の地元農産物の売上金額
- ②現在の学校給食に使用している地元農産物の種類及び使用率
- ③学校給食の使用率50%達成のため具体的手法、それに伴う予算の増額（給食費の値上げなど）の発生の有無
- ④それら以外の売上1.2倍達成のための手段
- ⑤達成目標年度などを示したロードマップ

答弁を求める者 市長

3. 学力県内トップクラスの達成について

- ①平成28年度全国学力テストの結果についての感想
- ②さくら市の子供たちの学力はどれくらいのもと感じているのか
- ③学力県内トップクラス達成のための具体的な取り組みは

答弁を求める者 市長

4. 子育て世代支援について

- ①市長の目指す、子育て“世代”支援とは具体的にどのようなものなのか

答弁を求める者 市長

5. 道路網の整備と街づくり・さくらロードの整備について

- ①市長はさくらロードをどのように位置づけているのか、そして今後どのように整備を進めていくのか
- ②国道・県道の整備と合わせて、道路網の整備と街づくりについて基本的な考えは

答弁を求める者 市長

大河原 千 晶 議員

1. 放課後児童クラブの運営について

①各施設の運営状況は

②課題・問題点は

③各施設への指導等はどのように行っているのか（頻度、方法等）

答弁を求める者 市長

笹 沼 昭 司 議員

1. 市長の施策方針について

- ①市長のまちづくりの基本理念、さくら市の将来像は。
- ②公約の中での最重要課題は。
- ③子供たちの学力のアップの秘策は。
- ④公約実現のために必要な市役所組織の変更を含めた今後の取り組み方は。

答弁を求める者 市長

2. 国民健康保険の広域化等について

- ①平成29年度の加入世帯・被保険者数と国保税の軽減世帯構成比率は。
- ②国保税の1世帯当たり及び1人当たりの調定額は。
- ③国保税の滞納と差し押さえの状況は。
- ④短期被保険者証と資格者証の交付状況は。
- ⑤広域化後の国保事業納付金はどうなるのか。
- ⑥国保税は引き上げになるのか。
- ⑦医療費の適正化への取り組みは。

答弁を求める者 市長

3. ICTの活用について

- ①職員の業務におけるICTの活用状況はどうか。
- ②市民サービス向上に向けての今年度と今後の計画はあるか。
- ③議会が先行してタブレットを導入した場合の課題はなにか。

答弁を求める者 市長

4. お丸山公園の5期整備計画について

- ①再整備計画の仕上げとしての5期計画はどのような姿になるのか。また進められるのか。

答弁を求める者 市長

角 田 憲 治 議員

1. 所信表明（進化プラン）について

①選挙公約実現にむけた秘策はあるのか。

②選挙公約実現にむけたタイムスケジュールは。

答弁を求める者 市長

小 堀 勇 人 議員

1. 道の駅きつれがわの今後の課題について

答弁を求める者 市長

2. デマンド交通の利便性向上について

答弁を求める者 市長

永 井 孝 叔 議員

1. さくら市進化プランについて

本市においても人口減少社会を迎えることとなりますが、人口減少による影響を抑制し、人口減少社会へ対応していくためには、効果的な行政経営により財政基盤を安定させつつ、産業の活性化や仕事の創出に力を注ぎ、定住・交流人口の増加につながる魅力あるまちづくりの推進が必要です。そして、市民の結婚や出産の希望を叶えられるよう、子育てや教育への支援を充実させるとともに、だれもが安心して地域で暮らせるような仕組みづくりに取り組むことで、将来にわたる持続性のあるまちづくりを進めていくことが重要であります。

そこで、市長が公約に掲げた「さくら市進化プラン」について3点伺います。

(1) 農商工、産業の進化について

農家の安定的な所得の確保のため、6次産業化や産地化・ブランド化、園芸作物の生産拡大等を支援し、農産物の付加価値を高めていく必要があります。また、農村地域の高齢化・人口減少等により農地の多面的機能が失われることが危惧されているため、農地の保全が求められています。こうした中、市長は農産物（品）の売上を1.2倍にすると公約しました。そこで、具体的にどう農産物（品）の売上増を図っていくのか、市長に伺います。

さらに、市の産業基盤を強化し、安定した経済環境を維持するため、優良企業の誘致とインフラ拡充、市内企業の育成等が求められています。そこで、市内企業をより元気にするため、市内企業の育成や企業誘致にどう取り組んでいくのか、市長に伺います。

(2) 教育の進化について

地域とのつながりが希薄化しており、子どもたちが地域や家庭での豊富な生活体験から体得していた倫理観や規範意識も十分に醸成されにくい状況となっています。また、グローバル化の時代を踏まえ、ICT教育や小学校での英語教育の重要性が増しています。このため、特別な支援を必要としている児童生徒へのきめ細やかな対策やICT教育の推進等が一層求められています。

そこで、確かな学力の確保を図るため、市長が公約に掲げた、学力「県内トップクラスの達成」やICT教育の推進、さらには老朽化しているスポーツ施設の充実にどう取り組んでいくのか、市長に伺います。

(3) ふるさとの進化について

少子化と高齢化が同時に、かつ、急速に進行しています。さらに、都市部への人口移動により、従来から住民の生活や資源の活用を支えてきた多様な「つながり」が縮小し、住民、個々の集落が孤立してしまう危機を迎えています。また、モータリゼーションの進展により、郊外の大型ショッピングセンターに買い物客を奪われ、かつての中心街は、店舗や事業所等を廃業・移転する経営者が増え、シャッター通りとなり、都市機能の衰退が生じています。一方で、近年のネットワーク基盤整備の進展及び各種情報通信機器の普及により、誰でも手軽に地域の情報を発信することができるようになっています。

このような状況の中、地域の衰退に危機感を覚え、地場産業、産物、芸術・文化などの地域資源の掘り起こしに取り組み、ICTを活用して地域再生に取り組んでいる自治体が多く存在しています。

そこで、市長は、「選ばれるさくら市へ！SAKURAをブランディング」するとの公約を掲げていますが、具体的にどのような施策を展開し、公約の実現を図っていく考えなのか、お伺いします。

答弁を求める者 市長

若 見 孝 信 議員

1. 市長公約について

- ①市長の政治姿勢について
- ②市長公約の優先順位について
- ③市長公約の実施に向けた推進体制について

答弁を求める者 市長

2. 道の駅きつれがわのリニューアルについて

- ①リニューアルしてからの売上、入客の数は
- ②売上、入客数を増やすための対策は
- ③道の駅きつれがわ温泉のリニューアルの考えは

答弁を求める者 市長

大 橋 悦 男 議員

1. 行政経営の課題と今後の取り組みについて

①自立の出来る自治体について

自立の出来る自治体とは、国や県に依存することなく、自らの財源により政策を実現することであると思われる。

そこで、財政基盤の確立を図るための取り組みについて問う。

②ハード事業からソフト事業への取り組みについて

何故、ハード事業からソフト事業への移行を求められているのか、また、その取り組みについて問う。

③行政運営から行政経営への取り組みについて

何故、行政運営から行政経営への移行が求められているのか、また、その取り組みについて問う。

④合併特例法による普通交付税算定の特例措置について

当特例措置の期限切れによる財政に及ぼす影響と対応策について問う。

⑤第2次さくら市総合計画の実施計画(2016年－2020年)の財政計画について

当計画において、5年後には財政がバランスシートで、どのように改善されるのか具体的に問う。

⑥地方公会計の整備促進について

新公会計と現行の会計処理による決算書の形式の違いについて問う。

答弁を求める者 市長